

安 全 情 報

No 38 / 2017

野党支持者による抗議集会・デモに関する注意喚起

野党連合 MUD は、治安当局によるデモに対する抑圧への反対、制憲議会の召集への反対、マドゥーロ大統領の退陣、諸選挙の実施等を求め、6月17日(土)、チャカオ市パルケ・クリスタルにおいて、集会を呼びかけているほか、6月19日(月)、国際社会からの支援を求めて、カラカス全土で大規模な抗議集会・デモを予定しています。

4月以降、野党支持者と治安機関との衝突が相次いでおり、多数の死傷者や逮捕者が出ていることから、デモ・集合場所付近には、絶対に近づかないようにお願いします。

1 抗議集会の予定

(1) 6月17日(土)

午前10時頃、次の6ヶ所に集合した後、チャカオ市ロス・パロス・グランデス地区パルケ・クリスタル(フランシスコ・デ・ミランダ通り)に集合する予定です。

【バルータ市】

- ・ベジョ・モンテ地区
- ・カウリマレ地区
- ・サンタ・フェ地区

【エル・アティージョ市】

- ・レドマ・ロス・ナランホス(ガレリア・ロス・ナランホスショッピングモール近く)

【チャカオ市】

- ・チャカイト地区プラザ・ブリオン

【スクレ市】

- ・ウニセントロ・ショッピングモール

(2) 6月19日(月)

治安機関の取締りを避けるため、集合時間、集合場所、デモや抗議の方法については、まだ発表されていません。

しかし、カラカスでは、バルータ市ラス・メルセデス地区 OAS(米州機構)事務所前に集合するとの情報があるほか、野党連合 MUD は、貧困地区の市民等にも合流を呼びかけており、デモ・抗議集会は大規模なものになるおそれがあります。

2 注意事項

(1) デモが始まれば、フランシスコ・デ・ミランダ通り、フランシスコ・ファハルド高速道路、プラドス・デル・エステ高速道路等の主要道路の一部が閉鎖されるほか、地下鉄、バスの運行が停止されると思われます。

(2) 抗議集会後、チャカオ市内各地(アルタミラ広場等)にデモ隊が再集合し、これを排除しようとする治安機関との衝突の可能性があります。

- (3) リベルタドール市エル・パライソ地区、エル・バジェ地区、スクレ市ペタレ地区等の貧困地区では、夜間、暴動や略奪、道路でゴミを燃やす等の事案が発生するおそれがあります。
- (4) 治安機関は、デモを制圧する際、催涙ガスを使用しており、催涙弾が人体に直撃して死亡する事件が発生しているほか、催涙弾の中には、劇症アナフィラキシーショック死や視覚障害、脳障害を引き起こす可能性のあるガスも含まれています。そのため、催涙弾が使用される場面に遭遇した場合は、風上や建物内に避難するようにして下さい。
- (5) 治安機関は、ビー玉状のものを弾頭として使用したスラッグ弾を、ショットガンから発射している可能性があります。このスラッグ弾が命中した場合、ビー玉が身体にめり込み、人を骨折させる程の威力があり、極めて危険です。
- (6) デモ隊の中には、通常の火炎瓶だけでなく、手製バズーカ砲の様なものを使用して、ロケット弾のように火炎瓶を遠距離まで飛ばす可能性があります。これは、完全装備の治安要員を負傷させる程の威力があり、極めて危険です。
- (7) 現下の厳しい経済状況や治安の悪化もあり、当面、夜間早朝の外出及び不要不急の外出は極力控え、できる限り、食料品・飲料水等の備蓄に努め、やむなく外出せざるを得ない場合には、テレビ・ラジオ・インターネット等で、事前に外出先や経路の状況を確認するようにお願いいたします。